Q④ 4年間の橋下市政は？

A「大阪市民はぜいたくしてる」くらしを次つぎ切り捨て

敬老パス有料化

橋下市長は4年前の選挙で「敬老パス維持　私鉄にも！」と選挙公報で公約。ところが当選すると「（敬老パスは）バカみたいな政策」と言って、有料化を強行しました。

国民健康保険料値上げ

大阪市の国民健康保険会計は4年連続黒字なのに、〝府内平均より低いので〟（橋下市長）と言って2013、2014年度と連続値上げ。くらしを圧迫してきました。

住吉市民病院廃止

橋下市長は、「二重行政のムダを省く」「年間5億円浮く」と言って、住吉市民病院の廃止条例を強行しました。

住吉市民病院廃止反対の市民運動

赤バスと市バス路線廃止

高齢者を中心にした「交通弱者」の貴重な移動手段となっていた赤バスや市バス。「市民は非常にぜいたくな住民サービスを受けている」と言って赤バスを廃止しました。大都市大阪に「交通難民」が生まれています。

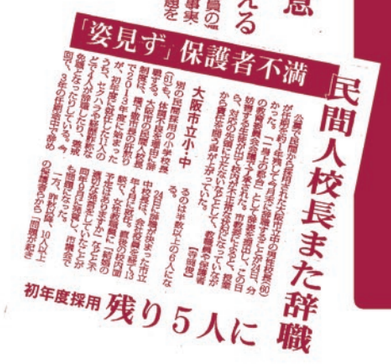
他にも…

- ●全国20大都市中一番高い介護保険料に（2015年度）。
- ●水道料金の福祉減免の廃止。
- ●地域の見守り活動に対する補助金の削減。
- ●老人憩いの家の補助金削減。

Q⑤ 教育に力をいれると言っていたのでは？

A 教育に介入、混乱もち込み 現役世代を泣かせてきた

橋下市長は、教育に首長が介入するための条例や、学校別学力テストの公表義務づけ、公募校長の押しつけなど、競争と統制、混乱を持ち込んできました。



生野の民間校長が辞意

教頭・土下座 市教委に伝える

公募で民間から採用された大阪市生野区の市立小学校の男性校長

橋下徹市長の肝煎り施策で、男性校長は初年度

民間人の校長登用は、一方、教職員の〝校内人事〟が事実、まっていた問題を

「姿見ず」保護者不満

民間人校長また辞職

初年度採用 残り5人に

市独自の35人学級を拒否し、中学校給食は冷たいデリバリー方式を導入し、子どもたちから批判が続出。就学援助も縮小しています。

公立幼稚園の全園民営化を強行しようとしています。

「新婚世帯家賃補助の廃止」「保育士配置基準の改悪」「幼稚園保育料の大幅引き上げ」など、子育て世代泣かせを進めてきました。

就学援助 対象また縮小

大阪・福岡など27市町村

経済的に苦しい家庭の小中学生に、学用品の購入費や給食費、修学旅行費などを補助する「就学援助」の対象が今年度は、27市町村

困窮している「準要保護」の子どもが対象。約151万5千人とされ、小中学生全体の15・42％を占める（2013年度）。

護の所得基準の1・3倍」が一例だ。文科省によると、全国の6割に当たる1067市区町村が生活保護の基準をもとにしている。

Q⑥ 住民自治が不足しているから「都構想」って言ってたけど？

A 住民自治どころか、民主主義をこわし、司法から断罪

市民サービスを削る「市政改革プラン案」のパブリックコメントに2万8399件も意見が寄せられましたが、橋下市長は「読んでおりません」「パブリックコメントに政策が左右されたら大変なことになりますよ」と無視。「職員は市民に命令する立場」「市民の顔色ではなく、市長の顔色を見て仕事をするのが当然」と言い、憲法違反の思想調査などを強行。裁判で「違法」との断罪が相次ぎました。

住民自治や民主主義こわしをしているのが橋下市長です。

橋下市長を断罪

戦争法反対の声をあげる国民の運動を非難する橋下市長

「有権者の何パーセントなんだ」

「こんな人数のデモで国家の意思が決定されるなら、ササンのコンサートで意思決定する方がよほど民主主義だ」（橋下市長のツイッター）

ママたちも立ち上がってデモ行進（「しんぶん赤旗」7月27日付）

「慰安婦制度が必要だった」撤回も謝罪もせず

橋下市長の「慰安婦制度は必要だった」の暴言には、国内外から“女性の人権をじゅうりんし、人間の尊厳をおかす国際的な戦争犯罪を肯定するもの”との批判が噴出しました。ところが、橋下市長はいまだに撤回も謝罪もしていません。

そればかりか、大阪市の姉妹都市のサンフランシスコ市議会が採択した非難決議に、橋下市長は「事実誤認」「慰安婦」問題は、世界各国にあった「普遍的問題」などとして撤回を求める公開書簡を送りました。国家が性奴隷制度をつくったのは、大日本帝国とナチス・ドイツしかありません。

「国際社会は納得しない」（国連事務総長）などの批判を無視する恥ずかしい態度をとり続けています。